

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念である『食卓を豊かに 人を豊かに 地域を豊かに』を明文化し、社員の目の触れる場所に掲示している。 ・経営者は会社のあるべき姿や売上や経費、利益、事業計画を社員と共有することで、経営理念を軸に社員自ら経営について考える体制を構築している。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守について全社員から念書を受入れる他、違反者に対しては罰則を定めている。 ・法令遵守を全社員へ徹底し、特に交通安全週間に於いては朝礼で声掛けを徹底や交通安全講習を受講することで社員へ周知している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・各店舗に応じた最適な量と正当な価格で取引を行っている。 ・請求書・領収書等については全て社長が確認し決済している。										10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・バリューチーン分析を実施し、自らの事業活動が、社会、環境に及ぼす正と負の影響を把握している。 ・社長が責任者となり、影響の共有と体制を整備している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・自社のロゴマークは特許を取得し、知財保護に取り組んでいる。 ・他の商標等についても無断使用しない様、社員へ徹底している。								8.2	8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報漏洩防止を徹底しており、情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している。 ・個人情報については、施錠管理のうえ、担当者・管理者のみが閲覧する体制としている。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者・消費者・投資家等及び社会全体)	●		・地元の小・中学校、病院や販売所の定期的な訪問により、お客様の声を聞き、コミュニケーションを大切にしている。 ・ベビーリーフの寄附により、ベビーリーフの美味しさを伝えることで子ども達の野菜嫌いや野菜不足の解決に貢献している。 ・取引先や地域の方、金融機関等のステークホルダーと連携し食を通じて課題解決に取り組んでいる。 ・仕事と家事を両立する社員のリアルな意見を商品に反映することでお客様に満足いただける商品開発に取り組んでいる。																		16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先と農薬についての環境問題について勉強会や研修を実施し地球に悪影響がないよう取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8			12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・外国人労働者や障がい者が在籍し、社員一同、一人一人の特性を理解し協力し合うことで誰もが働きやすい職場環境への意識が醸成されており、差別やハラスメントのない体制を構築している。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生法に則り事故を起こさないように徹底している。 ・機械の異常ランプ点灯時は、声掛けを徹底することで、安全対策を行っている。 ・休憩については必ず取得し、作業中の水分補給や耳栓の使用を徹底している。 ・工場に外国人もわかるように外国語表記で注意喚起を掲示し安全な労働環境を整備している。		3							8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金に沿って、全社員(正社員・パート)へ定期的に面談を実施し公正な待遇を行っている。 ・本人の希望に応じてパートから正社員へ積極的に登用している。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・仕事と家庭を両立できるよう基本的に時間外労働は行わないよう推進している。 ・育児休暇や介護休暇の制度を設けている。また現在も制度を活用している社員がいる。 ・多様な働き方ができるよう時短勤務制度も設けている。 ・育児中のスタッフが多数いるため、保育園の都合で子どもを預けることのできない場合は工場内の休憩室で受け入れが出来る環境を整えている。 ・事務所設備についても休憩室や屋内トイレ、シャワーを完備し働きやすい職場環境を整えている。 ・パートも長く安心して働くよう、育児・介護休業制度を推奨している。		3		5.5				8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・同業種で合同勉強会を実施し、情報共有やメンテナンス等のノウハウを習得している。 ・外部の講習会に積極的に参加している。 ・大型特殊免許等の資格取得を積極的に推奨しており、費用は全て会社が負担している。 ・外国人については運転免許の取得や日本語の勉強会に積極的に参加している。 ・新人については教育担当者を定め、相談しやすい環境を整えている。			4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・会社負担にて健康診断を受診している。 ・管理栄養士が在籍しており、社員の顔色を見て気になる方へは面談を都度実施している。 ・必要に応じて担当医師に健康相談を行い、従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じている。		3						8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性が活躍できる職場であり、『農業を女性だけでやる』『女性が動かす農業法人』をモットーにダイバーシティ経営を目指している。 ・外国人、障がい者の雇用もあり、新卒者から80歳代までの幅広い世代が一緒に働き、人種や性別による差別はない。 ・社員一人ひとりを尊重し、作業の割り振りを行うことで誰もが働きやすい環境を整えている。 ・WAP100の認定を受けている。			4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・会議においては積極的にWEB会議を活用している。 ・集合研修の際は換気や消毒、パーテーションの設置を徹底している。 ・工場内はマスク着用だが、それ以外では個人の判断に委ねている。 ・外部からの訪問に関しては、原則予約制としている。 ・感染症の流行に応じて、適切なマスク着用や行動制限を行っている。		3						8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・野菜の選別作業については、少人数で軽作業で出来るように機械を導入している。 ・女性でも使いやすい軽量の収穫機械を導入したことでの生産性向上に繋がっている。 ・ハウス内の設備に自動灌水装置を取り付けることで業務効率化に取り組んでいる。 ・FAX注文についてメールで移行しペーパレス化や効率化に取り組んでいる。								8	9.1		11	12							
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●			3	4						8	9			12							

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・化学肥料を使用せず、適切な場所で作られた有機肥料を使用し栽培している。 ・廃農業や農業容器についてはJAの廃農業回収日に持ち寄り適切な管理と処理を実施している。 ・農業ビニールについてもJAの規定に則り環境に配慮したものを使用している。 ・耐久性ハウスを使用することで、台風などの強風に耐えることができ、ビニールの張替の頻度を減らし廃棄物の削減に取り組んでいる。 ・グローバルGAP取得により農業や肥料を最小限に抑え、安全な使用方法や使用量を適切に管理している。				3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルを設置している。 ・「炭削くん」を用いてエネルギー使用量を算出し、作業工程の見直しにより、ガソリン使用量の削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「炭削くん」を用いてCO ₂ 排出量を算出し、トラクターの使用回数見直しにより、削減に取り組んでいる。	2.4					7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・トレーの廃止やプラスチック袋の削減することで環境に配慮している。 ・強度があるビニールハウスを使用することでビニール張替の頻度を減らし、廃棄物の削減に取り組んでいる。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙を使用や裏紙の使用を促進、事務用品についても環境に配慮したものを購入している。 ・パッケージについて以前箱型を使用していたが、廃棄物が多くなるとの意見から袋型に変更し削減に取り組んでいる。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・化学肥料を使用せず、適切な場所で作られた有機肥料への転換により、水資源の保全に貢献している。 ・ハウス内の設備に自動灌水装置を取り付けることで節水に取り組んでいる。	2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙を使用や裏紙の使用を促進、事務用品についても環境に配慮したものを購入している。 ・くまもとグリーン農業を取得することで、安全安心な農産物を生産、提供し豊かな地下水等の自然環境を守り育てることで環境に優しい農業へ取り組んでいる。								9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・ベビーリーフについてはすべて食べれるためロスが出ない。 ・ベビーリーフからリーフになったものも安価で販売しロスの削減に取り組んでいる。 ・販売先に応じて量を調節し、食品ロスが出ないよう工夫している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所周囲に横や紅葉などの植樹や可能な限り芝生を植えて緑の保全に取り組んでいる。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・事務所周囲に横や紅葉などの植樹を行っている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・トレーの廃止やプラスチック袋の削減することで環境に配慮している。 ・強度があるビニールハウスを使用することでビニールの張替の頻度を減らし、廃棄物の削減に取り組んでいる。											12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO ₂ 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ₂ 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ₂ 削減に取り組んでいる。	●	●								7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・当社のベビーリーフは創業より「1番摘み」のみを提供することで栄養価が高く、鮮度維持期間が長い品質のものをお届けしている。 ・手作業で収穫を行い異物の混入を防げるよう取り組んでいる。 ・HPにて安全性について発信している。 ・グローバルGAP認定を取得し、農業の持続可能性、食品安全、労働環境、環境保護に関する国際的な基準によりお客様からの信頼獲得にも寄与している。			3.9							9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・職場においてはパリアフリー、手すりの設置やひらがな・外国語表記することで誰もが利用しやすい職場環境になるよう取り組んでいる。 ・手すり等を設置したことで安全対策にも繋がり事故予防に取り組んでいる。 ・福祉施設と連携し、障がいの方へラベル張りを依頼し、誰もが働ける体制を整備している。 ・ベビーリーフの商品については、いつももさッと食べられ、柔らかいので子どもから高齢者まで誰もが食べられるよう商品開発に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・地元の学校と連携し、地元食材を使用した給食提供でベビーリーフを使用している。 ・地元木山中学校と連携し、「あなたのためのお弁当コンクール」にて地産地消をアピールしている。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●		・新品种の開発を促進することで、地元の農地拡大や雇用拡大に繋げている。農業コンクールやWAP100を受賞し、積極的に農業経営に取り組んでいる。 ・グローバルGAPを取得したことで環境・安全・安心の確保することで環境を守りつつ、販路拡大に取り組んでいる。	2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域事業者として病院や学校へ積極的にベビーリーフの寄付を実施している。 ・地元の食材を使用した給食にベビーリーフを提供している。 ・木山中学校と連携し、「あなたのためのお弁当コンクール」にて地産地消をアピールし食育に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップについては従業員の見えるところに掲示し周知している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・地震や災害の際は事務所を避難所として開放している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・SDGsを通じた自社の課題を把握し、課題解決に向け社員と共有し取り組んでいる。 ・外国人労働、廃棄物処理、ジェンダー問題などSDGsに関する勉強会を従業員に対し行い普及啓発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場連携授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・学校と連携しインターンシップや職場体験の受け入れ、食育活動を実施することで学びの場の提供している。				4				8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・積極的に地元の学生を雇用している。 ・住居手当を付与し県内外から来る若者が安心して就職できる体制を構築している。				4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		・農林水産業の担い手確保のために、学校と連携し、食育活動を実施することで学びの場の提供している。	2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。